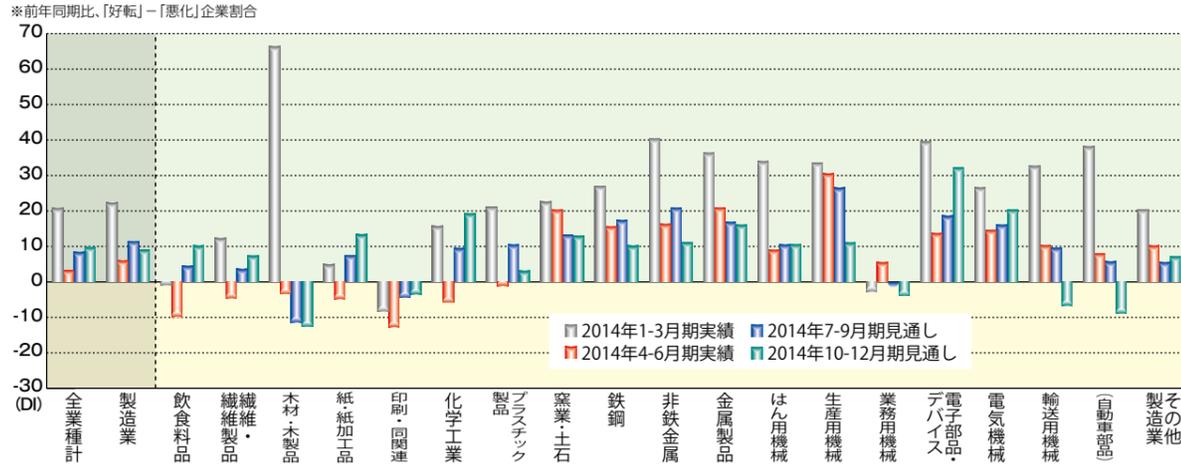


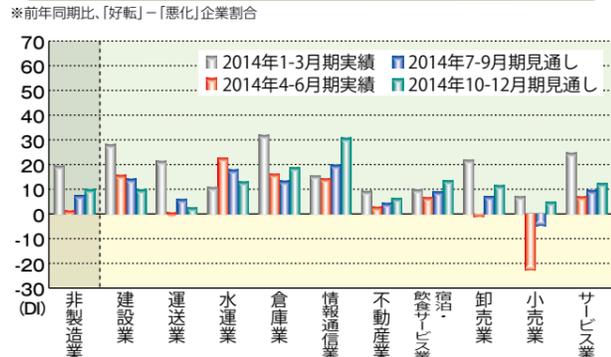
①-2 業種別業況判断

製造業：ほぼすべての業種で低下も、金属・機械関連の業種に堅調さ
非製造業：小売業をはじめほぼすべての業種で低下

製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>



非製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>



●製造業
 製造業は、ほぼすべての業種で低下し、住宅の建築資材を扱う木材・木製品のほか、国内消費に関連の深い飲食料品などがマイナス水準となった。一方、金属・機械関連の業種は、引き続きプラス水準となっている。来期以降は、多くの業種でDIはプラス水準になる見通し。

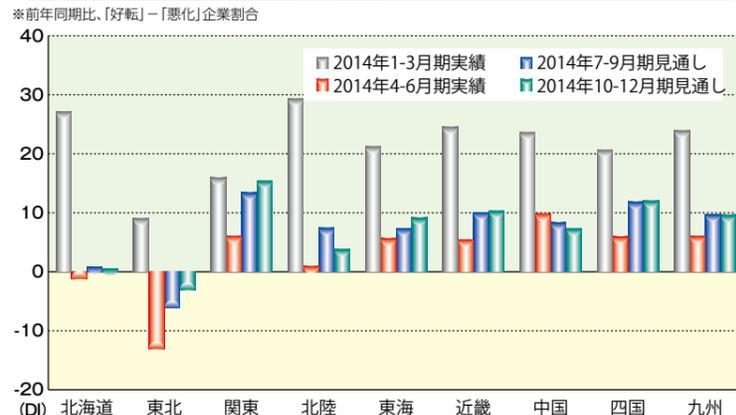
●非製造業
 非製造業は、駆け込み需要の反動から大きくDIが低下した小売業をはじめ、ほぼすべての業種で低下した。来期以降は多くの業種でDIは上昇し、来々期にはすべての業種でプラス水準となる見通し。

①-3 地域別業況判断

すべての地域で低下

業況判断DIを地域別にみると、9地域すべてで低下したが、7地域は引き続きプラス水準となっている。来期は、多くの地域で上昇し、北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州の8地域でプラス水準となる見通し。

地域別業況判断DIの推移<季節調整値>



データで見る中小企業の動き
全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

2014年4-6月期実績、7-9月期および10-12月期見通し

『中小企業の景況は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動はあるものの、緩やかに回復している』

日本政策金融公庫総合研究所は7月15日、「全国中小企業動向調査結果(2014年4-6月期実績、7-9月期および10-12月期見通し)」を発表した。



今回調査のポイント

- ① **業況判断DI** 5期ぶりに**低下**も引き続きプラス水準にあり、来期以降は**上昇**する見通し。
- ② **売上DI** 5期ぶりに**低下**も引き続きプラス水準にあり、来期以降は**上昇**する見通し。
- ③ **価格関連DI** 販売価格DI・仕入価格DIともに6期連続で**上昇**。
- ④ **純益率DI** 5期ぶりに**低下**も、来期以降は**上昇**する見通し。
- ⑤ **従業員DI** 前期から**上昇**し、12期連続でプラス水準となった。
- ⑥ **設備投資実施企業割合** 2期連続で**低下**も、高い水準を維持。

DI (ディフュージョン・インデックス)

当調査のDIは、回答結果の分散程度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合を差し引いた値で、基本的に「変化の方向」を表します。

DATA

- 調査時点：2014年6月中旬
- 調査対象：日本公庫中小企業事業取引先13,750社
- 有効回答企業数：6,599社 (回答率48.0%)

①-1 業況判断

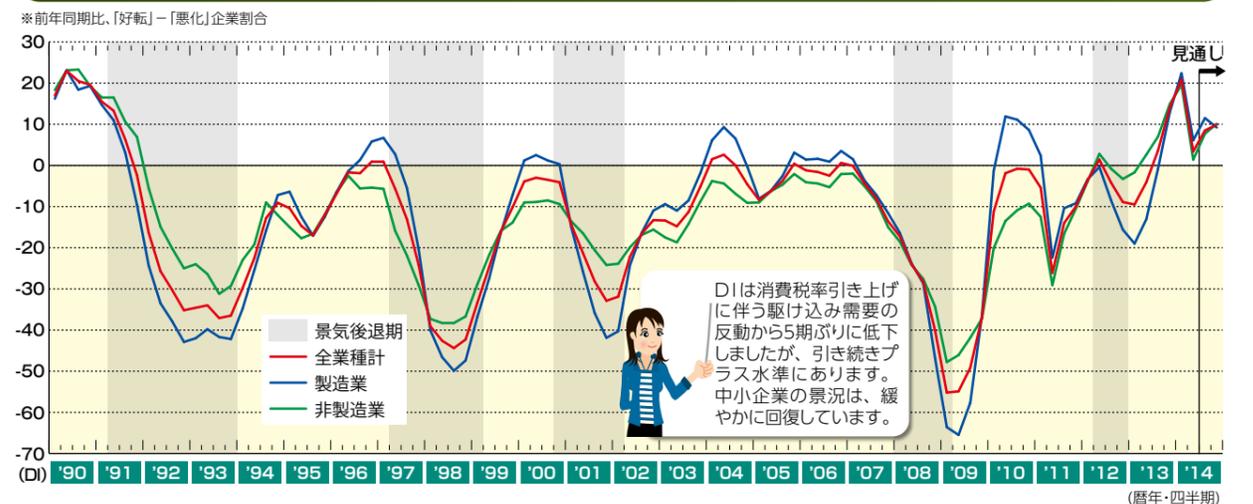
5期ぶりの**低下**も**プラス水準**

20.9 > 3.4

DOWN

- 現状 業況判断DI (前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合) は前期から17.5ポイントの大幅低下となったが、3.4と引き続きプラス水準にある。
- 見通し 先行きについては上昇し、来期は8.5になる見通し。

業況判断DIの推移<季節調整値>



④ 利益

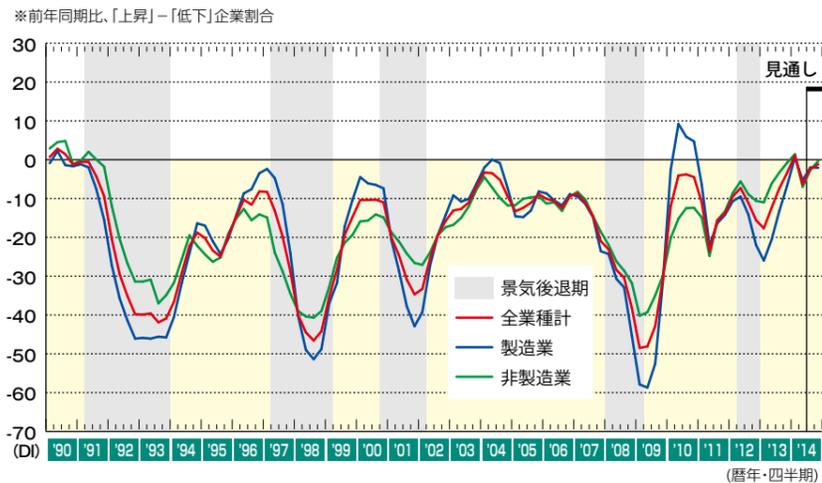
5期ぶりに
低下

1.1 ▷ ▲6.3



純益率DI (前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合) は▲6.3と、前期から7.4ポイント低下した。来期以降は上昇する見通し。

純益率DIの推移<季節調整値>



全国中小企業動向調査 (中小企業編) について

当調査は、中小企業の景気動向等を把握するために、日本公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以来3ヵ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業の分野においてわが国を代表するビジネスサーベイの1つとして、関係各位から高い評価を得ています。

② 売上

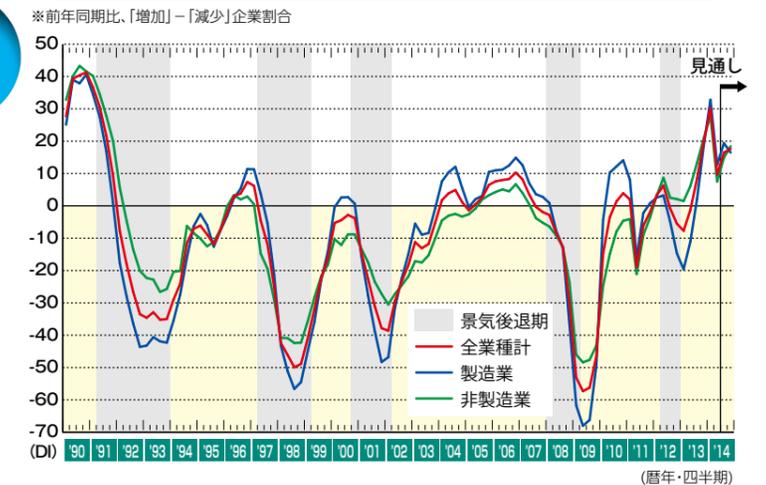
5期ぶりの低下も
プラス水準

30.2 ▷ 9.7



売上DI (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合) は5期ぶりに低下したものの、9.7とプラス水準を維持している。来期以降は上昇する見通しである。

売上DIの推移<季節調整値>



⑤ 雇用

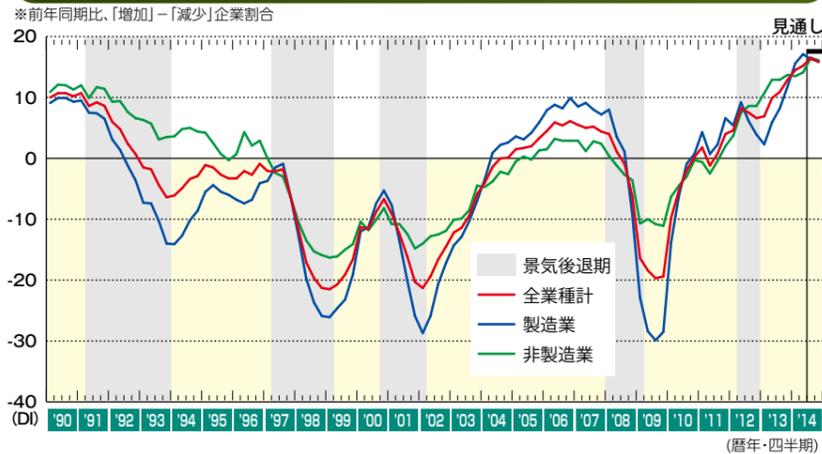
12期連続で
プラス水準

14.5 ▷ 15.2



従業員DI (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合) は15.2と、12期連続でプラス水準となっている。

従業員DIの推移<季節調整値>



③-1 販売価格

プラス幅が拡大

7.9 ▷ 11.6



販売価格DI (前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合) は、前期から3.7ポイント上昇し、11.6となった。上昇は6期連続で、来期も上昇する見通し。

③-2 仕入価格

プラス幅が拡大

59.8 ▷ 60.7



仕入価格DI (前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合) は、前期から0.9ポイント上昇し、60.7となった。上昇は6期連続。来期以降は低下するものの、引き続き高い水準で推移する見通し。

⑥ 設備投資実施企業割合

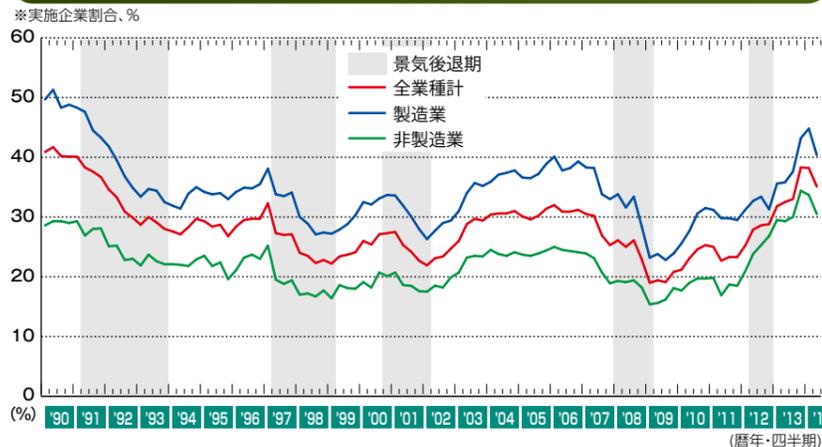
2期連続で
低下

38.2 ▷ 35.1



設備投資実施企業割合は35.1%に低下したが、引き続き高い水準にある。

設備投資実施企業割合の推移<季節調整値>



価格関連DIの推移<原数値>

